

令和2年8月23日

グリーンコープ熊本	様
個人ボランティア	森様
くまもと友救の会	様
くまの恩返し	様
フリーボランティア園田グループ	様
熊本山の店「シェルパ」	様
金光教支援ボランティア	皆様
旧町内会	川村様
秋田のご友人	様
町内会の支援者の	皆様

片岡さん空き地に支援頂いた多くの個人ボランティアの皆様

22日朝も、球磨川は何事もなかったかのように、流れています。8時過ぎ、国道を橋桁が倒壊した西瀬橋へ向かっていました。13時には、かかっているのが確認できました。被災から、50日目で西瀬橋は開通するようです。それに比べて、下流の球磨村の橋は、あらゆるところで倒壊していますので、なかなか復旧が進んでいません。

延べ600人の民間ボランティアのおかげで、私たちの50戸程の町内は、景観上、ほぼ復旧したかのように見えますが、生活再建は、まだまだこれからです。3戸の空き家が解決の方向へ向かへば、復旧並びに衛生管理上も解決の見通しがたってきます。

私たちの今後の課題は、【下新町復興に向けて、何をなすべきか】ではないかと考えています。
その第1に、下新町会館の再生を検討していますが、まだ構想が明確になりません。

第2に、今回の災害をきっかけに、町内会からの離脱世帯が増える問題です。

会館再興のために

- ①現在地の会館を取り壊し、更地にする（解体費用を、駐車料金でペイする：約10年）
- ②水没しない会館の敷地を町内で購入する（町内積立金：約300万円）
- ③会館建設費1500万円を以下の構想で調達する

人吉市活性化の一環として、会館を町民に限らず、観光客や、旧町民（過去下新町住民）、新町民（町外で下新町町内会員を希望する人）など、人吉市に関心を持っていただいたら、年間を通じて様々な行事に参加するとき、会館の併設シェアハウスを利用していくいただく。人吉の主な行事でも、正月、マラソン大会（2月）、ひな祭り（2～3月）、くま川下り（年間）、ラフティング（夏）、お城まつり（5月）アユ解禁釣り（6～9月）、お盆の花火大会（8／15）、おくんち祭り（10／9）、紅葉の季節（11月）など、計画すれば、様々な行事があります。

1部屋6～10畳程度（オーナー希望者次第で部屋数を考慮）

1. 町内会館に（オーナー制）のシェアハウスを併設する：10万円×30名
30名のオーナーは、連泊3日を限度に1日1000円で使用できる（数名で利用可能）
2. 下新町特別会員として、1年ごとに会費1万円で、シェアハウスを利用できる。
連泊3日を限度に1日1000円（オーナーが使用しない日に限る、数名で利用可能）
3. 敷地が町内会の所有となるため、市の助成金を利用する（約700万円）
4. 下新町の単独の会館とせず、上新町との共有施設として利用することで、高齢化による、町内会活動の硬直化を防ぐと共に、公の施設として広く一般にも利用してもらえるような施設を目指す
5. クラウドファンディングを利用して、広く全国から、会館再生のための資金援助を訴える。（200万円）

町内にいただいた淨財は、町内会の再生のために大切に使わせていただきます。本当にありがとうございました。

下新町町内会一同

【支援物資を届けていただいた全国の皆さま】

遠くは、北海道から、三重、埼玉、奈良、福島、大阪、広島、山口、・・・。九州各地からも、たくさんの支援物資をいただきました。町内の被災者に限らず、人吉そして球磨村の被災者の方々に、届けることができました。ありがとうございました。復旧活動の時間経過と共に、感じられたことは、必要な物資のマッチングでした。

8月23日（日）午後7時より、下新町役員班長会を開き、会館を解体することが決定しました。早急に決定したのは、①災害ゴミとして処理するため（ボランティアの協力を得ること）

②一旦更地にして収益をあげること ③リフォームをしても、再度災害に遭う可能性のリスクが高いこと

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月26日

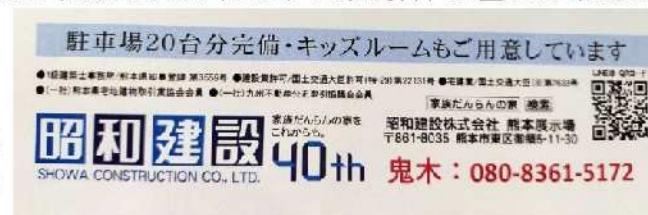
1. 災害支援窓口の情報です。下記のところに相談してみてください。

- ①総務省熊本行政評価事務所 : 0963-26-1100
専用フリーダイヤル : 0120-133-145 (8:30~17:15)
- ②司法書士の無料法律相談 : 0120-120-835
月~金の祝祭日除く夜 (17~20時)
- ③法テラス（弁護士・司法書士）相談 : 0120-078-309
月~金 (9~21時) 土は~17時 (日曜日は休み)
- ④熊本県弁護士会無料電話相談 : 096-312-3252
- ⑤カルチャーパレスで面談、開催中（月・水曜日の週2回）
事前に電話予約必要 : 096-325-0009
- ⑥人吉市の環境課は、9月から、被災家屋の全般の相談を受け付け、公費解体を含めた相談に対応していくような情報があります。

2. 熊本県熊本市御領5-11-30【昭和建設（株）】

担当鬼木 : 080-8361-5172

熊本地震では、建て替え費用すべてを補助金でまかなった事例等、実績のチラシが届いています



1. 片岡さん空き地の、軽自動車を撤去しました。持ち主は、上新町の辻井さんでしたが、4月に亡くなられていたため、対応できませんでしたが、解体業者を通して処分することにしました。ナンバープレートの返却等の諸費用は、解体業者が持つことになります。それでも、利益が出るルートがあるのだと思います。原形復旧にはもう少し時間がかかるかもしれません、懸案問題のほとんどは解決したのではないかと思います。

4. 下新町会館の解体計画は、以下の通りです。

- ①解体に伴う電気契約を申し入れ、9月1日にメーター等の撤去作業があります。
②正面のシャッター、（窓を含む）アルミサッシ、電球その他、1階の手作業できる部分の撤去作業
③2階の備品の持ち出しと保管（家城のテラス）
④足場を組んで、2階および調理場の屋根瓦コンクリート壁の撤去
⑤2階屋根および壁の取り壊しと撤去作業
⑥1階壁の取り壊しと撤去作業
⑦更地にして、資金的な見通しが立てば、コンクリートをながし、駐車場として運営始める

大まかな作業は、以上です。トラックが手配でき次第、その都度作業を進める計画です。9月に環境課相談して、公費解体の可能性を探る予定です。不可能な場合は、50万円を限度に町内会で無利子の金融制度を探して、10年以内の返済計画を立てます。年間5万円以上の駐車場収入が実現できれば、町内の資金持ち出しは0（ゼロ）円となる皮算用です。

町内会館の再建計画は、別途、実現しそうな計画がたてられたら、役員班長会に諮り全体の賛否を受けて、実施していくつもりです。

廃品回収等当面の町内会諸活動は、休止します。9月13日の敬老を祝う会は、記念品等の贈呈にとどめたいと考えていますが、まだ、役員班長さん方との話し合は、できていません。

会館再建のため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【 がんばろう人吉！ 】 【 がまだせ人吉！！ 】

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月28日

1. 27日（木）は、**会館の解体を開始**しました。しんばば支援センターに1週間前から宿泊して、個人ボランティアで協力いただいている永井さんと、2班の高橋さんの協力もあって、調理場の困難な箇所

①屋根瓦：ふいてあった瓦は下新町の上田さんの瓦でした。くしくもその孫のご主人が、解いてくれました。今日28日天気が良ければ、すべての瓦をおろす予定です。それに伴い、2階にある備品の一次的な収納場所に頭を痛めています。解体完了後は、更地に収納小屋を作る予定です。それまでの間ご協力いただける方を探しています。

②シャッターの撤去：手作業だけでは困難でしたので、チェーンソー（33393円）を購入しました。完了したシャッターを処分する際に、高橋さんの情報で買い取り業者があることを知りました。場所は、219号線沿い錦町のバッティングセンターの先でした。なんと、そのシャッターだけで1350円の収入がありました。もっと早く知っていれば、稼げる金属くずが山のようにありましたのに・・・。残念でなりません。確認していませんが、北願成寺の高木さんでも買い取ってくれるはずではないかと。。。そういえば、報告しておかなければなりません。8月2日に鹿児島のボランティアが、会館所蔵の焼酎を10本（14000円）買い取ってくれました。

チョット遅すぎの感がありますが、チェーンソーの購入費用をくず鉄で回収できるよう計画してみたいと思った次第です。

2. 抗酸化溶液を使った建築、屋内外の消毒情報が届きましたが、詳しい内容は控えたいと思います。関心のある方は、しんばば支援センターまでお知らせください。可能な限り、情報は伝えていきたいと考えています。

3. 人吉市の支援物資は、底をついてきたのでしょうか。ある町内の個人のボランティア活動のため、物資を調達に行った際、被災証明諸のない方への物資供給は断られているとか。。。確かに被災していない人が、支援物資を取りに行くこともあります。支援継続の必要性を疑われる人もおられる事と思います。であればこそ、地域の情報に詳しいボランティアとの連携を深め、より必要としている被災者の方々に届けるべきだはないでしょうか。



鉄	15 円/kg	ステンレス	60 円/kg
アルミ缶	50 円/kg	真鍮	310 円/kg
雑品	田/kg	雑線	190 円/kg
STH	株式会社 セカンドハンド TEL 0966-38-342		

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年8月30日

1. 会館解体は、計画以上のスピードで進んでいます。

①屋根瓦撤去完了：8月29日、旧2班上田しょうさん、高橋夫婦、4班蔵谷さん（がれきは処分は、片岡さん空地を利用させていただきました）

②アルミサッシ、石膏ボード、軽カル板撤去完了：30日、グリーンコープ6名、永井さん、森君で作業していただきました。

③2階の備品引っ越し：近日中（3軒から了承いただいているます）

④恵比寿さん祠解体：ご神体を保管し、会館完成後家屋の一角に祀ります。土台石も解体後、敷地の一角に設置します。：日程未定

⑤家屋全体解体：くまもと友救の会の日程待ち（災害ゴミとして撤去作業）

⑥更地にして、駐車場として収益をあげます。：開始日未定

このように進めることができれば、遅くとも10月中には完了します。残る費用は、更地のコンクリート敷設費（？）だけで済むかもしれません。

宮城県ナンバーの森車は、長らく浦田建設の駐車場をお借りしていましたが、30日午後2時、人吉を発ちました。球磨村の作業を終え、下流の坂本で、ボランティア活動をもうしばらく続けるようです。永井さんは、グリーンコープと一緒に八代市坂本でボランティア活動を続けられます。しんばば支援センターには、8月末日を持って個人ボランティアの住人がいなくなります。そういう日が訪れるることは、復活の兆しが見えはじめた証拠かもしれません。一抹の寂しさが残ります・・・。



2. フリー ボランティア園田さんグループ（18名）は、最後の球磨村作業でした。彼らも、9月からは、八代市坂本に移られます。災害復旧はまだまだ、道なかば。健康に留意され、一人でも多くの被災者の方々の助けになられるよう、祈念しています。

3. 災害ゴミ分別で、学んだこと。

①白いボードは、ほぼ石膏ボードだと思いきや、会館天井にはってあったボードは、けいカル板と言う別物でした。ややこしいのは、それを混載して処分できないらしい。

②木くずの分別は、家屋の角材・板材と、流木・流木くずも、私たちには変わりませんが、集積所においては、分別するように指示されます。（おそらく、流木処理は国土交通省の管轄のため、市町村単位でのゴミ処理をしない。そのための財源が別なのかも。なんとも...)）

③人吉市の可燃ごみ処理は、布団、衣類、プラスチックを混同してもいいのですが、球磨村は分別回収させます。県外のゴミ処理行政との契約次第で、分別方針が違うためらしい。



しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年9月02日

1. 下新町会館再生計画、第2期計画

- ①2階の備品引っ越しを行います。引っ越し先は、2班片岡さんの倉庫です。軽トラックを6班の園田さんにお借りします。
日時：9月5日午前7時から1時間程度
- ②人数が多いときは、窓枠のサッシ取り外し、雨どいの取り外しを行い、サッシと金属くずを売りに行きます。自宅に金属くずがあり方は、5日早朝までに自宅前の路上に置くか、会館まで運んでください。
窓枠のサッシ取り外しは、木ねじと釘でしっかりとめ込んでありますので、くぎ抜きやドライバーが必要です。また、床板をはがしていますので、作業位置が高く、脚立も必要です。その点を確認して、参加ご協力ください。
- ③エアコンの室外機も売れるそうです。町内の収入にしてもいい方は、お知らせください。

2. 31日午前9時、ズームと言う、インターネット会議システムがあります。サッカー応援団では有名な個人ボランティア、ツノダ（通称ちゃんまげ隊長）さんが、30名ほどの方々に呼びかけられて、熊本大水害、特に人吉および球磨村の状況を講演形式で90分間ありました。その際、下新町の状況と復興に向けてのインタビューを受けました。遠くは、ロサンゼルスの日本人もいて、会館再生の事を話しました。もしかしたら、下新町会館再生の義援金が送られてくるかもしれません。最近は、皮算用ばかりしていますが、会館再生が実現するかもしれません。不安がツノって、通帳の残高を確認していません。



3. 8班の大童さん宅に、5日朝10時頃、ボランティアセンターから派遣されます。ただ、彼らは、屋内から外へ搬出するだけですので、タタミその他備品をゴミステーションまで搬出しなければならないかもしれません。トラックの手配ができる方は、家城までお知らせください。しんばば支援ボランティアは、8月末で終了し、八代市坂本で活躍されています。そのため、今後ボランティア活動を申請する窓口は、川上記念球場のボランティアセンターとなります。

4. 人吉市の環境課が、災害ゴミの処分について相談窓口を9月から開きました。判断が難しいところもありますが、対象となる家庭は、

- ①一人暮らしの高齢者
- ②特に支援が必要な方
- ③ご自分で撤去することが困難な方

となっています。基本的には、業者に依頼した改築、リフォーム等で出るごみは、災害ゴミとなりませんので、環境課は扱ってくれません。なお、災害ゴミとして自宅前に置くことは可能ですが、回収の日程を把握できていません。また、町内の路地まで回収に回るのかも確認できません。

5. 下新役員班長会を開きます。日程は以下の通りです。

日時：9月5日（土）午後7時より

場所：家城白宅

議事①廃品回収の中止、敬老会の中止と記念品贈呈

②会館再生の意見交換

③えびすさん祠の解体とご神体の保管（会館再生後）

④その他

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年9月20日

1. 【くまもと友救の会】のご助力を得て、下新町会館が18・19日の2日で解体しました。

廃材は今週中に撤去し、更地後はコンクリートを流し込んで、駐車場にする予定です。解体中に、松村さんとあけぼの薬局の建物一部を傷つけてしまいました。申し訳ありませんでした。かかる費用は、とりあえず町内特別会計から支出し、駐車料金収益で回収します。



2. 19日（土）、ボランティアセンター6名の協力で、8班の大童さん宅の災害ごみ撤去が完了しました。2班の友井さん宅は、個人で業者依頼され災害ごみ撤去が始まりました。環境衛生上の問題が5班に2軒残っていますが、市の環境課と相談しながら解決していくこうと考えているところです。



3. 4班の井福さんと8班の岩崎さんより義援金をいただきました。ありがとうございました。

このご両家の災害ごみを少しずつ排出しています。床下浸水でしたので、家具類は水没していません。被災された方で、ご希望があれば差し上げたいという事でした。特に、タンスなど。



4. 会館再生について、第一段階として、更地となった敷地の所有権問題を弁護士に相談して方向を探していくきたいと考えています。所有権の取得時効（民法162条）で7名の所有者（子並びに直系子孫）に対して、下新町が裁判を起こすことのようですが、かかる費用がどの程度のものか全く情報を

持ち合わせていません。もしご存じの方がおられたら、お知らせください。10年ほど前に、会館法人化の手続きを試みましたが、14万円で断念した記憶がよみがえります。そのようなこともあって、無駄にお金を使うわけにもいきません。ただ、会館を再生するにあたって、今回の災害が近い将来起きないとも限りません。それを考慮するなら、別の土地を町内会で購入して再生することも、検討する必要があります。問題が山積していますが、できるだけ早い時期に結論を出さなければいけません。

5. 今日（20日）は、フリーボランティアの園田さんグループ、ちゅんまげ隊のツノダさん18名で、球磨村へボランティア活動に出向かれました。グリーンコープは坂本町へと、彼らの活動には本当に頭が下がります。



しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年10月6日

1. 2000/7/4水害から、3か月が経ちました。下新町町内の被災した住居は、公費解体等の計画もあって、空き家を含め全ての住居の対策見通しが立ちました、住居を取り壊して更地になる箇所が、12箇所になる模様です。

被災前の町内会世帯は47戸でしたが、39戸に減少する見込みです。（1班3、2班5、3班3、4班8、5班6、6班4、7班5、8班5）復旧の目途は立っても、再建並びにリフォーム等で再出発するには、数年先になります。水害の痛みは、なかなか癒えそうにありません。被災された皆さん的心が折れないよう支えあい協力し合って、しんばばを再生しましょう。

これまでに災害ごみとして廃棄した備品の中には、十分利用できる家具、調理器具、電気製品がありました。もったいない思いをしたものです。そこで**4班の井福さん宅に、被災しなかった家具、調理器具その他**を置かせていただくことになりました。ご希望があれば、いつでも家城までお知らせください。

1. 会館の解体が完了し、計画の第2段階でつまずいます。構想通りに会館の駐車場整備するには、170万円かかります。50万円程度をもくろんでいましたので、見直すべきかどうか悩んでいます。9月末に片岡さんの空き地が簡易舗装で完成しました。あの程度の駐車場でも十分目的を果たせると判断できますが、機会を逸してしまったことが悔やまれます。今月末までに会館駐車場整備について、結論を出さなければなりません。については、役員班長会を下記の通り行います。万障繩り合わせてご出席ください。なお、事前に町内会の皆さんのご意見も集約したいと考えていますので、班長さん若しくは家城までお知らせください。

役員班長会日程

日時：令和2年10月18日（日）午後7時より
場所：家城自宅



【会館駐車場整備に関するアンケート】 (○印、ご意見をお願いします)

①金額について

役員班長会に一任 ()
170万円でもいい ()
50万円程度が適当 ()

②整備の程度について

役員班長会に一任 ()
泥の部分を砂利で転圧する程度でいい ()
泥の部分をコンクリートする程度 ()
排水はちゃんとできる整備が必要 ()



③回収期間

役員班長会に一任 ()
3年以内で回収できること ()
5年程度で回収できること ()

④ご意見いただければ幸いです

* * * * 災害支援財団 * * * * 設立趣意に寄せて

熊本県南部大水害【人吉】
下新町町内会長 家城正信

この度の熊本県南部大水害は、人吉では誰一人として経験した事のない未曾有の大水害でした。私たちの町内は、わずか47戸の高齢化の進んだ世帯です。経験が無いうえに、世界的なコロナウィルス問題のため、豊かな経験をもつボランティアの専門家が、人吉に入ってこれない特殊な状況の中、広島「特定非営利活動法人つなぐおんがえし」のご縁で、下新町の500坪の空き地に不法投棄された災害ゴミを中心に、県道沿いの災害ゴミをどのように処理すべきかを、的確にご教示いただきました。

- ①町民の心が折れる前に、県道の災害ゴミを撤去することで、被災者に希望をつなぐこと
- ②市当局が進めようとしている分別回収方式の問題指摘
- ③災害対策は時間との闘いであること
- ④不法投棄を早急に撤去しないと、危険性と環境衛生上の問題が発生すること
- ⑤超法規的処理が、最終的には合理的であること

日本全国のどこかで、激甚災害が、毎年のように発生することから、事後に組織を立ち上げることなく、即応できる* * * * の設立は、被災をしてみて切実に考えさせられた、喫緊の課題です。災害発生から2ヶ月が経ちました。表面上の復旧は、一通り済んだように思われ、メディアの取り扱いも少なくなってきました。被災者にとっての重大問題は、個々それではあります、

- ①高齢化のために再建計画が建てられない
- ②子供たちの住宅に移り住んでも、新しい人間関係を構築できない
- ③等々、容易に推察できます。

災害によって、私たちは、物理的にも精神的にも、甚大な損害を被ってしまいます。災害が発生しないための、地球的規模の環境整備が望まれますが、今、最も必要とされている問題は、被災者の心が折れる前に、即応できる、常設のボランティア組織ではないでしょうか。

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年10月21日

1. 会館進捗報告

10月20日、グリーンコープの協力を得て、会館の跡地に砂利を6立方メートル入れることができました（20460円）。19日の役員班長会では、アンケート用紙が充分回収できませんでしたので、最終判断を保留しました。

役員班長会への一任が多かったのですが、50万円以内での支出を支持された意見もありましたので、回収率を高めた上で、決定したいと思います。アンケートを提出していない方は、25日までに家城まで出してくださいだけないでしょうか。

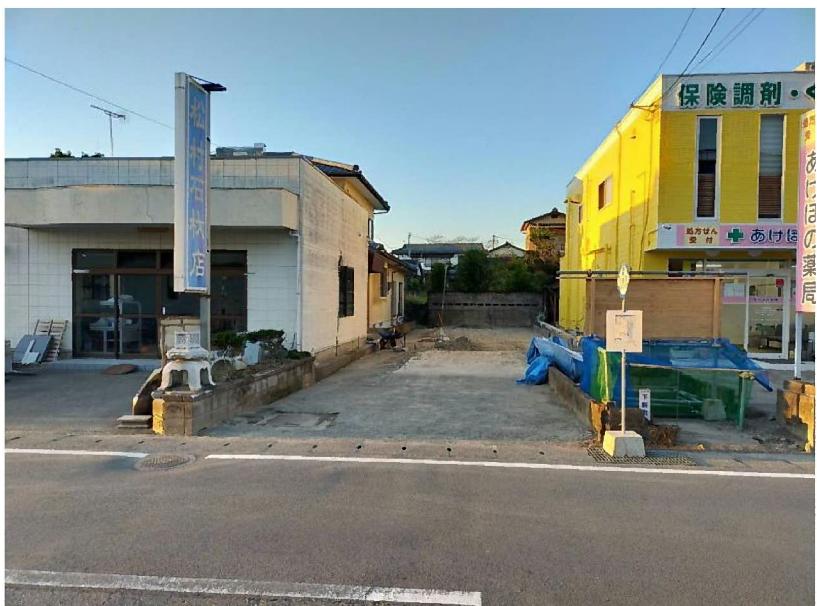


2. 会館の再生について、現在地に再建するには二つの問題があります。
①土地が町有地となっていないこと
②今回のような水害が、将来起きないという保証がないこと

①の土地所有権については、近々、法律相談で、裁判費用がどの程度かかるか確認する予定です。町有地にしようとする理由は、市の助成金を活用して建設したいからです。

②の問題は、町内で解決できる問題ではありませんので、人吉市の再生計画を見守るしかありません。

そのような関係から、ある民間組織と手を組んで、下新町が土地を購入し、建設費の2／3を家賃収入で立ち上げる方向を模索していました。残念ながらこの構想は、成就できませんでした。



21日現在検討している再建計画は、2件あります。第1案は①の問題を解決して、現在地に再建すること。第2案として、現在地は駐車場として運用して収入源を確保し、別途購入できる土地を下新町の特別会計で購入し、市の助成金と無利子金融の借金で再建をはかること。

3. 20日、【社団法人ピースポート】の災害支援により、被災した人吉市の24町内会館に60万円の備品購入支援説明会がありました。会館を解体したために、少しハードルが高くなりましたが、来年の7月までに建設のめどが立てば、支援を受けることができそうです。

同日の説明会で紹介された団体がありました。【アーキレススキュー人吉球磨】ボランティア団体が、社会福祉協議会と連携して、被災した建物の相談を無料で受けているようです。詐欺まがいの、判断が困難な組織もある中、できるだけ紹介を控えていますが、おそらく、今回は問題ないと思われます。たとえば、

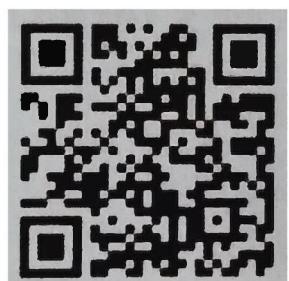
- 被災した建物は、1日も早く壁を剥ぎ消毒しないと、壁裏のカビが大きな問題となる
- とりあえず2階が無事だった家屋の、必要最低限のリフォーム相談
- 予算の枠を先に提示して、それに見合う再生計画のアドバイス
- とりあえず自宅の応急処置のアドバイス

地元の建築士が代表のボランティア団体です。時間の経過とともに、再建するか解体するか、いろいろと心が揺れるものです。相談してみる価値はあるようです。

住所：人吉市上青井町160（人吉旅館横）
電話：代表、上村清敏 090-1365-3830

メール：arhitoyoshi@gmail.com

フェイスブック（facebook）：<https://www.facebook.com/ARhitoyoshi>



しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年11月14日

1. 会館進捗報告

●まず、土地の所有権移転について、結論から報告すれば、断念せざるを得ませんでした。司法書士に相談するには、30分5000円の相談料が必要ですが、今回の相談料は無料にしていただきました。要約すると所有者7名の子孫全員もれなく確認して、裁判を起こす必要があるため、10年前に断念したように数百万円の費用が予想されます。よって現在地を町有地にできませんので、市の補助金を申請できません。

町有地にできる可能性は、道路拡張などで、県が接收する際には、全ての地権者を調査しますので、その時を利用する以外になさそうです。

●現在地に会館を建設する可能性も否定できませんので、駐車場のための舗装工事は、当面保留せざるを得ません。

●現在、会館の備品を、片岡さんの倉庫に保管していただいているが、市の環境課からゴミステーション等の補助金が4万円おりましたので、えびすさん祠の一角にゴミ収集倉庫と併せて、会館備品を収納しようと思います。

2. 支援物資・災害ボランティア

●すいぶん寒くなってきました。冬の備えはいかがですか。必要なご家庭の情報がなくて、①支援物資がお寺等に残っていると聞きます。「さんるーふ」の近くの【林照寺】で電化製品を支援するとの情報が13日に入りました。様々な支援ボランティアが、独自のルートで人吉に支援物資を届けてくれますが、支援を受けたい人々の窓口が無くて、マッチングできません。②毛布が足りない人はいませんか。個人的に届いた新品の毛布があります。必要な方は、家城までお知らせください。

③観音寺では、不定期ですが、様々な支援物資を集めて【おやっさん】というボランティアが、中心になって人吉の被災者の皆さんに届けてくれています。

④明日15日(日)午前10時~午後3時は、上新町で【グリーンコープ】衣料品を100円でリサイクル市を開きます。11時からは、焼きそばの炊き出しもあります。

まだまだ土砂が残っていて、家の再建決断もままならないご家庭もあるかと思われます。下新町でも、公費解体を決断されたご家庭が、10軒になります。空き家や自主解体まで含めると、15軒になるでしょうか。私事ですが、今回の大水害で腰を痛め、回復の足取りがドンドン遅くなってしまった。そこで一念発起し車両系建設機械免許を取りました。70にもなると、さすがに、体力に自信が持てなくなりました。しばらく、重機とダンプを貸してくれそうな人を探しだせそうです。素人ですが、とりあえず免許保持者ですから、ご希望があれば是非お知らせください。能力の範囲内でお手伝いしたいと思います。

災害支援で大切なのは、**必要な人に遅滞なく届けるシステムの構築**だと考えるようになってきました。インターネットやスマホのSNSで情報を個別にやっていても、ほぼ被災者側にその手段も方法も分からず、十分な支援が届かない現実に打ちのめされます。紙ベースで被災者に情報を流すにも、膨大な印刷物を一方的に出すだけで、その扱い手が見つかりません。「公」にそれを申請しても、均一性公平性がネックとなり即応体制の問題が出てきます。

被災地域50戸あたり1個の情報掲示板をつくり、1面を被災者側の要望をメモ紙で自由に張り、裏面をあらゆるボランティアが、提供できるサービスや物資の情報を張れるようにして、1週間程度で更新していくければ、個人情報の問題などあって掲示板の管理者が必要でも、緊急性の高い災害時は、とりあえず情報の共有の観点から必要な手段といえるのではないでしょうか。

3. 重機免許をとるために

大型特殊免許を持っていると、2日の講習(4600円)で取得できます。持っていないと少しハーダルは高くなりそうです。1日目と2日目の1時間が学科講習でした。その後学科試験70点以上を取ると、実技講習があります。学科試験は、車両全般・安全点検・力学・電気・法規と、広範囲ですが4択の回答から間違っているものを選ぶ方法で、1問あたり4点、8問間違えると不合格です。覚えてはいけない箇所を押さえていけば、不合格になる人はまずいないようです。実技は、初めての操作でしたが、時間の限り操作要領を学び、乗車前の安全確認、捜査前の安全確認、操作開始のクラクション、移動前の安全確認、等々指示通りにゆっくり丁寧にやれば、合格できるようです。

解体の免許は、別にとる必要があります。次は、解体免許を取ろうと計画中です。皆さんも万一に備えて、取得しませんか。

しんばば便り 2020人吉水害版

令和2年12月4日

1. 会館進捗報告

●ゴミステーション兼倉庫が、完成しました。費用は、合計54540円

- ①リサイクル推進事業費 40000円
- ②環境美化補助金 13000円
- ③町内備品設備費 1540円



でした。今年中に片岡さんの倉庫に預かっていただいている会館の備品類を移転する予定です。

●アメリカテトロイト商工会より、本町内会館再生のために633536円の寄付金をいただきました。いきさつは、日本サッカー界の応援団として、有名な通称【**ちょんまげ隊長ツンさん**】(しんばば便り水害版9月2日参照)が、【テトロイト商工会が主催する】インターネットZoom研修会で、講演された際に、下新町の取り組みを紹介していただいたことがきっかけで、11月7日には直接視察にも来られました。これまでの義援金が43万円ありますので、町内への浄財は100万円以上になります。ささやかながら感謝状を送りました。

●会館建設には、まだまだクリアしなければハードルがあります。

- ①町有地を確保すること
- ②建設資金を工面すること

町有地を確保するためにも、資金が必要なため、なかなか困難です。町有地が必要な理由は、公的資金補助を受けるための最低条件です。(建設目標額1000万円)



●今後、何が喫緊の課題かと問われるとき、

- ①被災家屋の早急の復旧
- ②被災された家庭の、日常的な生活サポート体制の構築(ニーズの収集と的確な提供)
- ③コミュニティの場の開設

被災の状況は、家庭によって様々です。仮設に入居された家庭と、自宅でリフォームしながら生活される家庭のインフラもまた違います。11月に入って、毛布が必要か尋ねる時点では、無いだろうと考えていましたが、以外にも6家庭ありました。まだ在庫ありますので必要な方はお知らせください。10月初めには、有名メーカーから布団一式提供の情報がありました。広報しませんでした。以前に食器の調査があって、29セット要望しましたが届きませんでした。被災当初は、毎日のように顔を合わせて、被災された方々のニーズを把握できていましたが、給食配布を終了してからは、見えなくなってきたことが、今になってわかります。会館があれば、支援物資を展示しておいて、お茶会を定期的に案内したり、掲示板に必要物資の要望を書いておくことで、ある程度問題解決の方向が見えてくるのではないかと、思います。

2. 町内ボランティア募集しています

今回の水害で8戸以上が転出される事が推察されます。実質的な町内会活動戸数は、40戸を下回ります。被災された床上浸水戸数は27戸、空き家を含めると37戸になります。実質的な公費解体、リフォーム等はまだ先になりますが、インフラ上の災害対策は、ほぼ完了しました。これから支援活動は、日常生活の協力活動に移行していきます。

社会福祉協議会では、東校区地域生活支援の協力者を募集しています。活動範囲は原則的にお住いの町内会です。**協力いただける方は、裏面に記入して、12月25日までに家城までお届けください。**

一番の問題は、困っておられる問題を、的確に把握して、遅滞なく協力する体制の構築です。とりあえずは、家城が窓口になります。困っておられる方は、遠慮なくお知らせください。

3. 役員班長会のお知らせ

日 時：12月6日(日) 午後6時30分～

場 所：家城自宅

- 議 事：
- ①消防年末年始行事について（参加協力中止の予定）
 - ②町内会えびす祭り新年会について（中止の予定）
 - ③今後の行事について（廃品回収は実施予定）
 - ④その他